



EDELRID 

エーデルリッド ロープカタログ 2022

ROPES

セミスタティックロープ



インタースタティック
プロテクト
83238



プロスタティック
シンクテック
83237 / 83236



セーフティスーパ
83215 / 83216

ダイナミックロープ

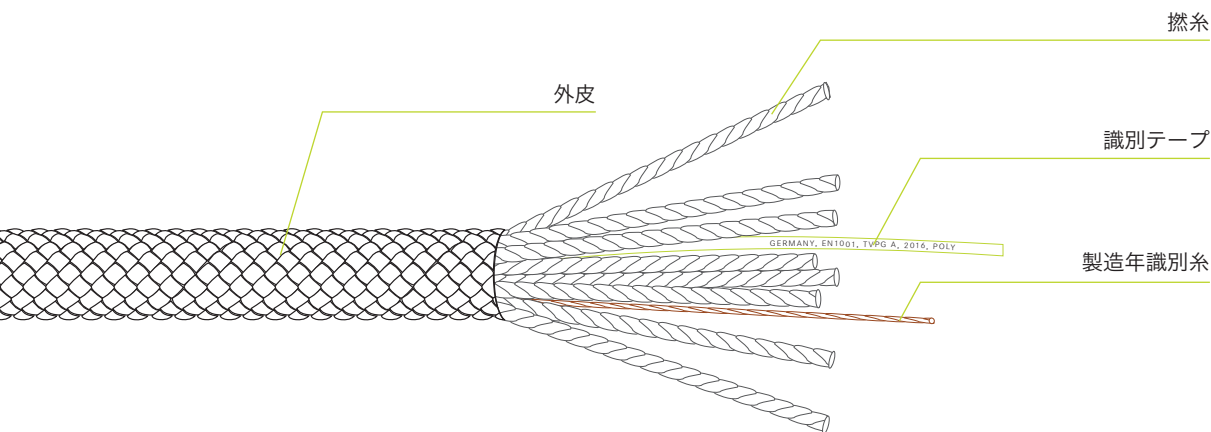


ダイナマイト
83241



Baustelle Axel Springer © Klaus Fengler

ロープの基本構造



識別テープ

製造年識別糸はポリプロピレン製の細い糸です。セミスタティックロープの規格 EN 1891 に基づき、次の情報を表示する必要があります：製造者名、適合する規格とロープの種類、製造年、セミスタティックロープに使用されている素材の種類

製造年識別糸

製造年識別糸は、ポリアミド製で特定の色でできています。色の違いにより製造年を識別できますが、10年ごとに決まった色が繰り返し使われています。製造年識別糸により、ロープの耐用年数を通してこの情報が保持されます。

製造年	カラー	製造年	カラー
2008	グレー	2015	グリーン
2009	ピンク	2016	ブルー
2010	ブラック	2017	パープル
2011	ブラウン	2018	グレー
2012	レッド	2019	ピンク
2013	オレンジ	2020	ブラック
2014	イエロー	2021	ブラウン

近年エーデルリッドは、革新的な編み加工のテクノロジーを開発し、ロープの全体的な特性と耐用年数を改善しました。これらのテクノロジーにより、エーデルリッドロープの安全性能が向上しました。



カットプロテクト

新たな編み加工の開発、高強度アラミドとポリアミド繊維の組み合わせにより、切断に対する高い耐性を有するロープの製造が可能になりました。現在、ロープの規格において切断に対する耐性を測る試験がないため、エーデルリッドは信頼できる方法でこの測定を可能にする独自の試験方法を確立しました。



シンクテック

シンクテック・テクノロジーは、これまでのカーンマントルロープとは対照的に、ロープの芯と外皮を恒久的かつ機械的に連結します。ロープを編む工程において、一定間隔で芯と外皮を編み合わせるのです。繰り返しの使用により分離する可能性のある化学的な連結（接着剤を使用する等）と比較して、シンクテックによる連結は恒久的に維持されます。また、芯と外皮が一体となることで、それぞれの撚糸に荷重がより均等に分散されます。これにより、非常にコンパクトで形状が安定した、操作性の高いロープとなります。さらに、芯と外皮を恒久的に連結することの付加的な安全機能として、鋭利な角等が原因で外皮に損傷が生じた場合に、外皮が芯からずれるのを防ぐことができます。これらの特性により、シンクテックロープは高い安全マージンが求められる、過酷な高所やレスキューの現場で作業するユーザーに最適です。



サーモシールド

サーモシールド処理は、全てのエーデルリッドロープに標準採用されている最終処理です。エーデルリッドロープ特有の柔軟性とハンドリングを生み出します。熱により状態を安定させるこの工程は、芯と外皮の撚糸のバランスを完璧なものにします。この特殊な熱処理は、繊維を一度ゆるめた後に収縮させます。これにより個々の撚糸の状態が均一になり、製品の使用期間を通して密度が高くしなやかな状態が保たれます。その結果、収縮せず、容易に硬くならないロープが生まれます。



外皮のパターン

エーデルリッドのセミスタティックロープの直径は、外皮のパターンにより素早く明確に確認できます。

ロープ末端のラベル

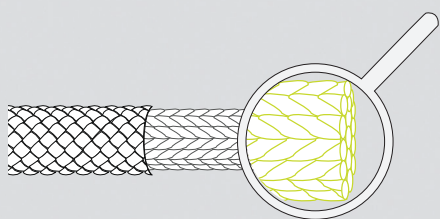


ロープの構造

様々なニーズに対応するため、エーデルリッドロープの芯と外皮には、いくつかの異なる構造があります。重要なのは、それぞれの構成要素の絶妙なバランスです。

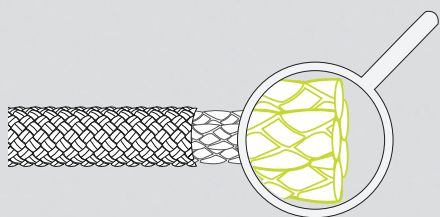
芯（内部構造）

芯はロープにおいて荷重に耐える部分で、非常にきめ細かいマルチフィラメントでできています。エーデルリッドでは、加撚と編み合わせという、2つの異なる方法を用いています。



Twined（加撚）

芯の構造を形成する標準的な方法です。製造されるロープの種類によって、基礎となる撚糸3本（場合によっては5～6本）が撚り合わされて芯を構成する撚糸が製造されます。その撚糸13～22本により、セミスタティックロープにおいて荷重に耐える部分である芯が構成されます。

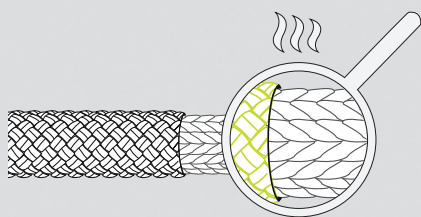


Braided（編み合わせ）

この方法は、製造されるロープの種類によって、1～3層構造になるように撚糸を編み合わせます。この結果、非常に密度の高い構造が実現します。「編み合わせ」加工された芯のロープは、「加撚」加工された芯のロープと比べ、寸法安定性とエッジに対する耐性が高くなります。これらのロープはスプライス加工がしやすく、また末端を縫製処理した際により高い強度を発揮します。

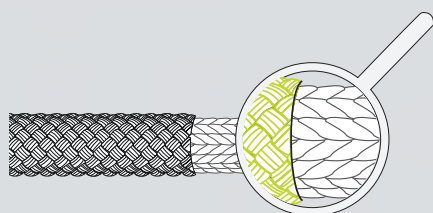
外皮

外皮は、摩耗、紫外線等の外的な影響から芯を保護し、砂が侵入するのを防ぎます。外皮を注意深く視ることにより、セミスタティックロープの目視点検が可能です。外皮が損傷し、内部の芯が露出している場合、そのロープを廃棄する必要があります。エーデルリッドでは、ロープの用途に応じて、複数の種類の外皮構造を用いています。



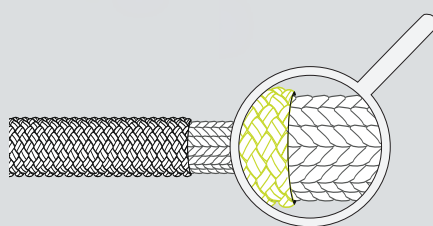
Twined（加撚）

この方法は、外皮の撚糸2～5本を適切なテンションと回転スピードで撚り合わせます。撚糸を撚り合わせることで、外皮の表面積が増えるため、耐摩耗性が向上します。



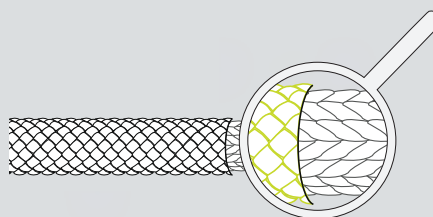
Multiple-wound (加撚していない撚糸をスプールにセット)

この方法は、加撚されていない撚糸をスプールに並行に巻いていきます。これにより繊維を最大限に活かすことができ、破断強度の値を最大化できます。この方法が採用されたロープの短所は、「加撚」加工されたロープと比べ、耐摩耗性が若干劣る点です。



Twined and Shrunk (加撚と収縮)

この方法は、加撚の後にオートクレーブで撚糸を収縮させます。収縮加工により、使用期間を通してロープが柔軟で操作性に優れた状態に保たれ、また激しく使用してもロープが更に収縮しなくなります。撚り合わされた外皮の構造は、優れた耐摩耗性を発揮します。



Multiple-wound twines (加撚した撚糸をスプールにセット)

この方法は、加撚と「multiple-wound」の両方の良さを組み合わせることができ、高品質なロープの製造を可能にします。外皮の撚糸は、加撚された後でスプールに並行に巻かれます。この複雑な工程は、エーデルリッド ロープの中でも、破断強度と耐摩耗性の両方を最大限に高める必要のある最上級のロープにのみ採用されています。



Baustelle Axel Springer © Klaus Fenzler

MADE IN GERMANY

INTERSTATIC PROTECT

11,0 MM

切断に対して高い耐性を有するセミスタティックロープ



ロープの外皮にアラミド繊維を編み込むことにより、切断に対する耐性を強化

サーモシールド処理による優れたハンドリング

ロープの直径を示す外皮のパターン

83238

INTERSTATIC PROTECT インタースタティック プロテクト



切断に対して高い耐性を有するセミスタティックロープです。編み加工の工程において、高強度アラミド繊維がロープの外皮に編み込まれています。これにより『インタースタティックプロテクト』は、外皮率および直径が同等のセミスタティックロープと比べ、切断に対する耐性が2倍近く高くなっています。伸び率が低いことを含めたこのロープの特性により『インタースタティックプロテクト』は、ロープが鋭利な角と接触したり、安全マージンを高くとることが求められたりする全ての場面において、最適な選択といえます。

- サーモシールド処理による優れたハンドリング
- ロープの直径は外皮のパターンで簡単に確認することが可能
- ロープの外皮にアラミド繊維を編み込むことにより、切断に対する耐性を強化
- 重要：このロープを用いた場合でも、エッジに対するロープの十分な保護が必要です

長さ	価格 (税込)
50 m	¥ 27,170
100 m	¥ 54,340
200 m	¥ 108,570

11,0 mm



017 ナイト

MADE IN GERMANY

製品番号	直径	認証	長さ	カラー
83238	11,0 mm	EN 1891 Typ A	50, 100, 200 m	017 ナイト

ROPE
FINDER

製品名	直径	ロープタイプ	重量/メートル	最小破断強度	末端に8の字結びびを作った状態での破断強度	伸び率 (静荷重)	外皮のずれ	外皮率	水による収縮率	結索性
インタースタティックプロテクト	11,0 mm	A	77 g/m	35 kN	20 kN	2,0 %	0 mm	44 %	2,4 %	1,1

KNOWLEDGE BASE

ロープの耐切断性

新たな編み加工の開発、高強度アラミドとポリアミド繊維の組み合わせにより、切断に対する高い耐性を有するロープの製造が可能になりました。現在、ロープの規格において切断に対する耐性を測る試験がないため、エーデルリッドは信頼できる方法でこの測定を可能にする独自の試験方法を確立しました。

<https://www.edelrid.de/en/knowledge-base/sports/cut-resistance-of-ropes-part1.php>





Bergwacht Bayern © adler-fotografie

MADE IN GERMANY

PROSTATIC SYNCTEC

10,5 MM/11,0 MM

困難な高所作業やレスキューの現場で作業するユーザーに最適なセミスタティックロープ

芯と外皮を恒久的に連結するシンクテックテクノロジーによる高い寸法安定性と高い安全性

サーモシールド処理による優れたハンドリング

ロープの直径は外皮のパターンで簡単に確認することが可能

ポリエステル製の特殊な外皮構造 (Multiple-wound) により、伸び率が低く正確な作業が可能

83236 / 83237

PROSTATIC SYNCTEC プロスタティック シンクテック



『プロスタティックシンクテック』は、芯と外皮を恒久的かつ機械的に連結することで、安全性だけでなく、ロープ寿命の向上を同時に実現したセミスタティックロープです。頑丈なポリエステル製の外皮とポリアミド製の芯の組合せにより、低い伸び率と最大限の耐摩耗性を発揮します。これらの特性により、『プロスタティックシンクテック』は高い安全マージンが求められる、困難な高所作業やレスキューの現場で作業するユーザーに最適です。

- サーモシールド処理による優れたハンドリング
- ロープの直径は外皮のパターンで簡単に確認することが可能
- 芯と外皮を恒久的に連結するシンクテックテクノロジーによる高い寸法安定性と高い安全性
- ポリエステル製の特殊な外皮構造 (Multiple-wound) により、3% 未満の伸び率を実現しており、正確な作業が可能

直径	カラー	長さ	価格 (税込)
10.5 mm	スノー	50 m	¥ 21,120
		100 m	¥ 42,020
		200 m	¥ 83,930
	ブルー	50 m	¥ 21,890
		100 m	¥ 43,670
		200 m	¥ 87,230
11.0 mm	スノー	50 m	¥ 21,890
		100 m	¥ 43,670
		200 m	¥ 87,230
	ブルー	50 m	¥ 22,770
		100 m	¥ 45,320
		200 m	¥ 90,530

MADE IN GERMANY

製品番号	直径	認証	長さ	カラー
83236	10,5 mm	EN 1891 Typ A	50, 100, 200 m	047 スノー, 300 ブルー
83237	11,0 mm	EN 1891 Typ A	50, 100, 200 m	047 スノー, 300 ブルー

10,5 mm

11,0 mm



047 スノー

047 スノー



300 ブルー

300 ブルー

★★★★★	耐摩耗性
★★★★★	耐切断性
★★★★★	登高時の効率
★★★★★	強度
★★★★★	耐久性

ROPE
FINDER

製品名	直径	ロープタイプ	重量/メートル	最小破断強度	末端に8の字結びを作った状態での破断強度	伸び率 (静荷重)	外皮のずれ	外皮率	水による収縮率	結素性
プロスタティックシンクテック	10,5 mm	A	79 g/m	36 kN	20 kN	2,8 %	0 mm	40 %	1,8 %	0
プロスタティックシンクテック	11,0 mm	A	85 g/m	38 kN	22 kN	2,5 %	0 mm	37 %	2,0 %	0

83215 / 83216

SAFETY SUPER II セーフティスーパーII



エーデルリッドのセミスタティックロープにおける代表製品です。
『セーフティスーパーII』は優れた耐摩耗性、低い収縮率と伸び率を提供します。下降器やその他のレスキュー/高所作業用器具においてロープがスムーズに流れるようにデザインされており、幅広い使用に適しています。

- 加撚および収縮加工された外皮構造による優れた耐摩耗性と低い収縮率
- ロープの直径は外皮のパターンで簡単に確認することが可能
- 撚り合わせた芯の構造により、ロープの形状が安定
- サーモシールド処理による優れたハンドリング

直径	カラー	長さ	価格 (税込)
10.5 mm	スノー	50 m	¥ 20,350
		100 m	¥ 40,700
		200 m	¥ 81,290
	グラス	50 m	¥ 23,430
100 m		¥ 46,860	
11.0 mm	スノー	50 m	¥ 21,120
		100 m	¥ 42,240
		200 m	¥ 84,370
	ファイアターコイズ	50 m	¥ 25,080
		100 m	¥ 50,050
		200 m	¥ 99,990

MADE IN GERMANY

製品番号	直径	認証	長さ	カラー
83215	10,5 mm	EN 1891 Typ A	50, 100, 200 m	047 スノー, 467 グラス
83216	11,0 mm	EN 1891 Typ A	50, 100, 200 m	047 スノー, 214 ファイア, 379 ターコイズ

10,5 mm

11,0 mm



047 スノー

047 スノー



467 グラス

214 ファイア



379 ターコイズ

ROPE
FINDER

耐摩耗性	★★★★★
耐切断性	★★★★
登高時の効率	★★★★★
強度	★★★★★
耐久性	★★★★★

製品名	直径	ロープタイプ	重量/メートル	最小破断強度	末端に8の字結びを作った状態での破断強度	伸び率 (静荷重)	外皮のずれ	外皮率	水による収縮率	結素性
セーフティスーパーII	9,5 mm	A	59 g/m	22 kN	15 kN	3,9 %	0 mm	37 %	1,0 %	0,9
セーフティスーパーII	10,5 mm	A	74 g/m	27 kN	18 kN	3,9 %	0 mm	39 %	1,1 %	1,0
セーフティスーパーII	11,0 mm	A	81 g/m	30 kN	22 kN	3,6 %	0 mm	40 %	1,3 %	1,0

83241

DYNAMITE ダイナマイト



高所作業における確保用ランヤード、ロープシステムでの使用に適しています。

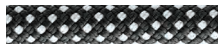
- グリップ性の高い外皮
- サーモシールド処理による優れたハンドリング

カラー	長さ	価格 (税込)
ナイト レッド	50 m	¥ 28,050
	100 m	¥ 55,990
	200 m	¥ 111,870

MADE IN GERMANY

製品番号	直径	認証	長さ	カラー
83241	11,0 mm	EN 892	50, 100, 200 m	017 ナイト, 200 レッド

11,0 mm



017 ナイト



200 レッド

製品名	直径	ロープタイプ	重量/メートル	最小破断強度	末端に8の字結びを作った状態での破断強度	伸び率 (静荷重)	外皮のずれ	外皮率	水による収縮率	結素性
ダイナマイト	11,0 mm	A	78 g/m	0	0	7,7%	0 mm	37%	0	0

テクニカルインフォメーション

セミスタティックロープに関するヨーロッパ規格: EN 1891

1. タイプ	タイプ A	タイプ B
2. 素材	> 195°C	
3. 直径	8.5 ~ 16 mm	
4. 結索性	M = 10 kg < 1.2	
5. 外皮のずれ	≦ 20 mm + 10 (D - 9 mm)	≦ 15 mm
	D ≦ 12 mm の場合	
	≦ 20 mm + 5 (D - 12 mm)	
	12.1 mm ≦ D ≦ 16 mm の場合	
6. 伸び率	≦ 5 % M = 50 → 150 kg	
7. 外皮率	≧ (4D - 4) / D ² x 100	
8. 衝撃荷重	≧ 6 kN	
	M = 100 kg 落下率: 0.3	M = 80 kg 落下率: 0.3
9. 耐墜落回数	≧ 5 回	
	M = 100 kg 落下率: 1	M = 80 kg 落下率: 1
10. 破断強度	≧ 22 kN	
	ノットなし	
	≧ 15 kN	≧ 12 kN
	8の字結びで固定	

M = おもりの質量 D = ロープの径

1. タイプ

タイプAとタイプBの2種類があります。タイプAのロープにはタイプBのロープよりも高い性能が求められます。

2. 素材

ロープの芯と外皮の素材の融点は、195 °C より上であることが求められています。

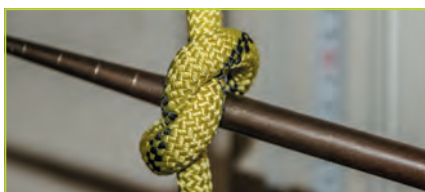
3. 直径

10 kgの静荷重をかけた時のロープの直径を計ります。

4. 結索性

ロープの結びやすさ（柔軟性）を示す数値です（K = 結び目の内径※ / ロープの直径）。結び目の内径がロープの直径の1.2倍未満であることが求められます。柔軟なロープほどこの数値が低くなります。

※結び目の内径：ロープにオーバーハンドノットを結び10kgの静荷重を一分間かけた後、荷重を1kgまで下げ、その状態で結び目に専用の物差しを差し込み結び目の内径を測ります。



結索性の測定方法

5. 外皮のずれ

ロープの芯と外皮のずれを表す数値です。片方の末端は芯と外皮を熱処理して一体にし、他方の末端はそのまま処理しない状態にしたロープ（長さ2.25m）を用意します。ロープを規定の装置に通して一定の力ではさみ、その状態からロープを引き抜きます。これを5回繰り返した後の芯と外皮のずれの長さを測ります。



「外皮のずれ」があるということは、荷重するたびに外皮と芯がこすれあうことを意味します。外皮と芯の摩擦はロープの耐久性に影響するため、「外皮のずれ」の数値が低いほど耐久性に優れたロープと言えます。エーデルリッドのすべてのロープは「外皮のずれ」がゼロになるようつくられています。

6. 伸び率

50 kg 荷重時と 150 kg 荷重時のロープの長さの差を測ります。セミスタティックロープは、伸び率が5%以下であることが求められます。ロープ登高やホーリングにはこの数値が低めのもの…など、用途や好みによりロープを選ぶ際の目安になります。

7. 外皮率

ロープに占める外皮の質量の割合を表します。外皮は芯を守る役割を持つため、外皮率の高さは耐摩耗性に関係します。

8. 衝撃荷重

ロープにより墜落が止められた時に人体、コネクター、支点にかかる荷重を表します。タイプAのロープには100 kgのおもりを、タイプBのロープには80 kgのおもりを使用し、長さ2m（両端の8の字結びを含む）のロープを使って墜落距離0.6 mの落下（落下率0.3）をさせた時の衝撃荷重を量ります。

9. 耐墜落回数

ロープがおもりの墜落に耐える回数です。タイプごとに定められた質量のおもりを、長さ2mのロープを使って2m落下させ（落下率1）、ロープが切断するまでの回数を計ります。

10. 破断強度

ロープの両端を、結び目を作らずに固定した時と、8の字結びで固定した時の破断強度を測定します。ロープは結び目を作ったり折り曲げたりすることにより強度が落ちます。実際の使用ではほぼ必ず結び目を作ってハーネスや支点にロープを連結するため、8の字結びで固定した際の破断強度は重要です。

ダイナミックロープに関するヨーロッパ規格：EN 892

1. タイプ	シングルロープ	ダブルロープ	ツインロープ
2. 外皮のずれ	≦ 20 mm		
3. 伸び率（静荷重）	≦ 10 %	≦ 12 %	≦ 10 %
	M = 5 → 80 kg ロープ1本	M = 5 → 80 kg ロープ1本	M = 5 → 80 kg ロープ2本
4. 伸び率（動荷重）	≦ 40 %	≦ 40 %	≦ 40 %
	M = 80 kg ロープ1本 落下率：1.7	M = 55 kg ロープ1本 落下率：1.7	M = 80 kg ロープ2本 落下率：1.7
5. 衝撃荷重	≦ 12 kN	≦ 8 kN	≦ 12 kN
	M = 80 kg ロープ1本 落下率：1.7	M = 55 kg ロープ1本 落下率：1.7	M = 80 kg ロープ2本 落下率：1.7
6. 耐墜落回数	≧ 5 回		≧ 12 回
	M = 80 kg ロープ1本 落下率：1.7	M = 55 kg ロープ1本 落下率：1.7	M = 80 kg ロープ2本 落下率：1.7

M = おもりの質量

1. タイプ

シングルロープ：リード/セカンドともに1本で使用できるロープです。

ダブルロープ：リードの際は2本で使用し、2人のセカンドをピレイする際には1人につき1本で使用できるロープです。

ツインロープ：リード/セカンドに関わらず、常に2本で使用するロープです。

2. 外皮のずれ

セミスタティックロープと同様のテストを行います。

3. 伸び率（静荷重）

静荷重時のロープの伸び率を表します。5 kg 荷重時と 80 kg 荷重時のロープの長さの差を測ります。

4. 伸び率（動荷重）

衝撃荷重時のロープの伸び率を表します。それぞれのロープタイプごとに定められた重量のおもりを、長さ 2.8 m のロープを使い 4.8 m 落下（落下率 1.7）させた時のロープの伸びを計ります。

ロープは伸びることにより墜落の衝撃を吸収するため、この数値は「衝撃荷重」と関係します。

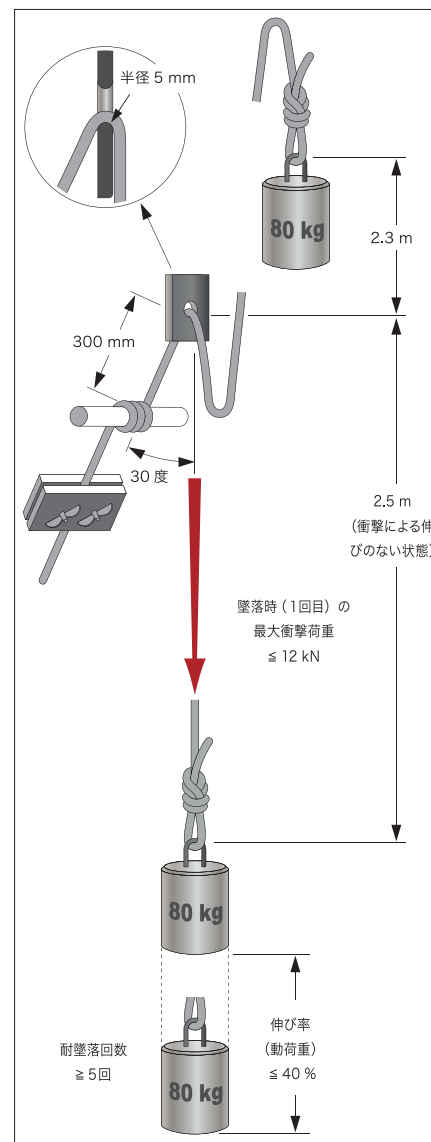
5. 衝撃荷重

上記の「伸び率（動荷重）」と同様のテストを行い、ロープにより墜落が止められた時に、おもり、コネクター、支点にかかる荷重を量ります。この数値が低いほど墜落時にユーザーに加わる衝撃は低くなります。ただし、衝撃吸収能力のみ高めようとすると、ロープの耐久性が低下します。エーデルリッドのダイナミックロープは、耐久性と衝撃吸収能力のバランスが理想的になるようにつくられています。

実際の墜落では、衝撃荷重はロープの衝撃吸収能力だけでなくダイナミックピレイ等幾つかの要因により吸収されます。逆に、岩角へのロープのジャミング等により落下率が大きくなるために衝撃荷重が増加する場合もあります。

6. 耐墜落回数

ロープがおもりの墜落に耐える回数です。ロープタイプごとに定められた重量のおもりを使って上記「衝撃荷重」と同様のテストを行い、ロープが切断するまでの回数を計ります。

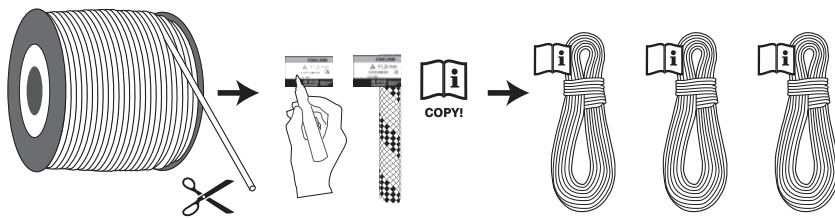


テクニカルインフォメーション

ロープ末端の切断・処理について

外皮のずれや末端のほつれを防ぐため、ロープの末端を切断する際は注意を要します。

- 傷んだ箇所からすぐの所でなく、1～2mほど余分に切断します。
- 傷んだ箇所を切りとったら、末端側5mの箇所に向けて手でしごきます。外皮にずれが生じている場合、余分な外皮を末端の外に出すことができます。
- 末端に外皮の余りができたら、その外皮の端から20cmさかのぼった所で改めてロープを切断します。こうすることで、将来的に外皮のずれが生じるのを抑えます。
- 最後に、末端がほつれないように結着します。一番良い方法は適切なホットカッターを使用する方法です。無い場合は、ライターを使用することもできます。繊維を溶かし、慎重に手で断面を平らにします。ロープを焼かないように注意してください。
- 中央にマーキングのあるロープの場合、片側の末端を切断することでマーキングの位置がずれてしまうため、マーキングの位置を修正する必要があります。
- EN規格では、全てのロープに適切なラベルの表示が求められています。新しい末端には、必要な情報を全て記載したマーキングラベルを貼り直す必要があります。ラベルもしくはテープを貼り付け、熱収縮カバーで保護してください。
- ロープをカットしてメートル単位で販売する場合、販売者はロープ末端のマーキング情報と取扱説明書をコピーし、ユーザーに配布する必要があります。

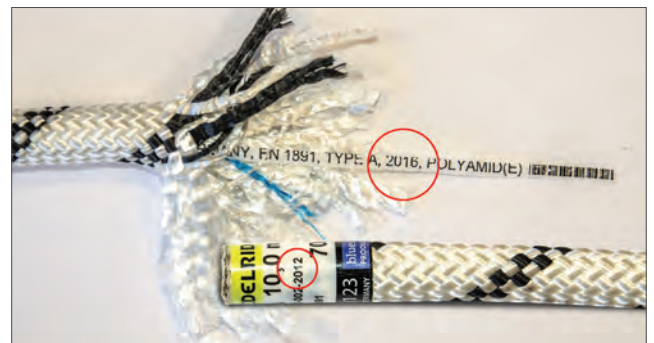


個人用保護具の点検

ロープは使用されるために作られています、使用するとその痕跡が残ります。使用の前後に注意深くロープを点検する必要があるのはそのためです。これは特にロープの縫製処理済の末端に当てはまります。また、職場で使用する場合は、個人用保護具に精通した担当者が最低でも12ヶ月に1度全ての個人用保護具を点検する必要があります（ドイツ法定損害保険112-198/199）。この過程を適切に記録し、トレーサビリティを維持するため、使用記録を残す必要があります。使用記録は厳密な要求事項ではありませんが、これにより個人用保護具の点検と評価がしやすくなります。結果として、ユーザーが個々の用具の使用時間を把握し、目に見えない損傷の可能性に対して一歩進んだ安全対策を検討することができます。

目視点検に加え、ロープは触診による点検をおこなう必要があります。わかりにくい小さな変形や損傷の痕跡を見つけることができる唯一の方法です。以下の情報は、当社の個人用保護具に関するトレーニングコースで使用している、カーンマントルロープ点検マニュアルより抜粋したものです：

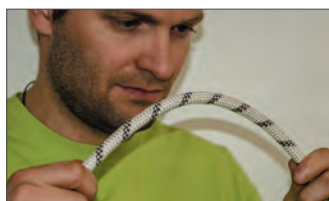
1. **ラベルの確認と最長耐用年数：**CEマークとシリアル番号が読める状態で表示されていることを確認してください。製品の最長耐用年数を過ぎていないことを確認してください。そのためには、ロープの製造年を確認する必要があります。セミスタティックロープでは、ロープ末端のラベルに記載されたシリアル番号もしくはロープ内部の識別テープから、この情報を確認できます。最長耐用年数に関する情報は、メーカーの取扱説明書でいつでも確認できます。取扱説明書は購入するロープに付属しているほか、メーカーのウェブサイトからダウンロードすることもできます。マーキングや情報が見当たらない場合や、ロープの耐用年数を経過した場合は、使用を中止してください。



個人用保護具の点検



2. **ロープの長さおよび中央のマーキングの確認**：表示されているロープの長さが正しいこと、また中央にマーキングがあるロープについては、そのマーキングが正しい位置にあることを確認してください。短時間でロープの長さを確認する方法：ロープを広げて半分の長さに折り、さらに半分に折ります。その状態で長さを測り、計測した値を4倍します。



3. **外皮の目視点検**：外皮に物理的な損傷（切れ目、摩耗、融解、硬化した箇所、変色や外皮のずれ等）が無いことを確認してください。切れ目は、ロープが損傷を受けたことを示しています。融解や硬化した箇所は、ロープが高温にさらされたことを示しています。変色は、ロープが化学物質と接触した可能性を示しています。これらの内のいずれかに該当するロープは使用を中止してください。

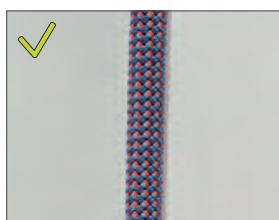


4. **触診による点検**：ロープの全長にわたり芯の感触を確かめてください。ロープをしっかり曲げ、そのあと両手の中を流します。硬い、もしくは柔らかい箇所がないか。異常に太くなっている箇所がないか。変形や硬化、潰れた箇所がある場合は、ロープの芯が損傷したり劣化したりしていることを示しています。ロープの使用を直ちに中止する必要があります。

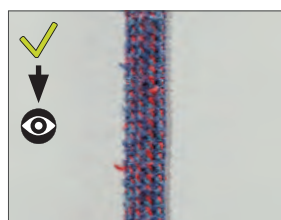


5. **縫製処理済の末端および結び目の点検**：縫製箇所および結び目を確認してください。必要な場合は、保護カバーを取り外して隠れた縫製箇所を適切に点検できるようにしてください。縫製箇所が切れたり、裂けたり、摩耗したりしている場合、ロープの使用を中止してください。

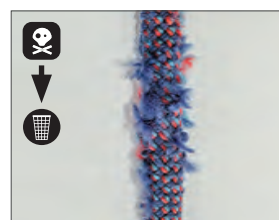
原則：ユーザーが、いかなる理由でもロープが使用に適した状態にあることに確信を持っていない場合は、使用を中止し必要に応じて個人用保護具に精通した担当者による点検を実施してください。



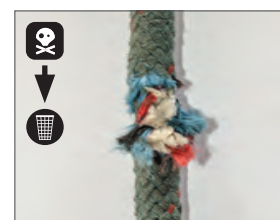
摩耗した外皮



摩耗した外皮



損傷した外皮



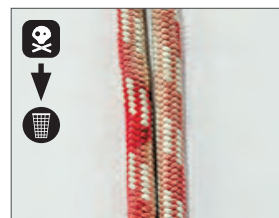
切れ目



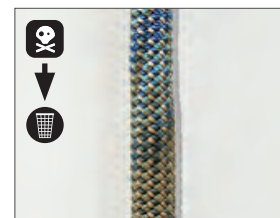
摩擦による融解



摩擦による融解



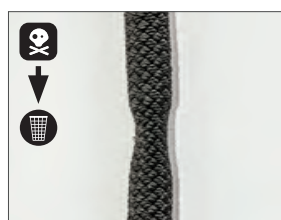
変色



変色



汚れ



芯の変形



ラベルが判読できない



縫製処理済の末端の縫製が裂けている



EDELRID 

エーデルリッド社 (SAFETY) 輸入販売元

株式会社アルテリア

〒350-1305

埼玉県狭山市入間川 2-37-1

TEL:04-2969-1718

<https://www.alteria.co.jp>

本カタログに記載されている価格は2022年4月1日現在の消費税（10%）を含めた価格です。
製品の仕様・デザイン・価格等については予告なく変更される場合があります。

Muenchen © Klaus Fengler